



vol.11

協力隊通信

Spring 2025

前橋市地域おこし協力隊
地域づくり分野

PAVEL FEDOROV

(パーベル フョードロフ)



【地域の魅力紹介】

GCCザスパーク (ザスパ練習場)

地域と外国人と一緒にスポーツをして
ふれ合える場所。

市民と外国人の「心の距離」を縮める

年々、日本は世界中から観光客を惹きつける、とても魅力的な国へと進化しています。でも、前橋市は、その波に乗り切れていません。とはいえ、確かな追い風が。世界で話題になったミュージック・ビデオ「Maebashi All Stars」等の影響で前橋を知る外国人が少しずつ増えてきたのです。留学生も年々増加中！ただ、ここで問題が。「彼らは本当に前橋で暮らしやすいのか？」 答えは……うーん、まだまだ課題山積み、というのが正直なところです。そんな中、「まえばしカラオケワールドカップ」や「フットサル国際交流大会」といったイベントが誕生。目指すは市民と外国人の「心の距離」を縮めること！だって、音楽とスポーツに国境はありませんから。私もここ数年、これらのイベントに全力で関わってきました。そして、今年もそれらの大会が開催されます！みんなで歌って、笑って、走って、汗かいて、国籍も年齢も宗教も性別も、全部ひっくるめて「楽しい！」を共有しましょう。きっと、そこには言葉を越えた友情が生まれるはずですよ。

vol.11

協力隊通信

Spring 2025

前橋市地域おこし協力隊 地域づくり分野

三ツ井 朋大

(みついともひろ)



【地域の魅力紹介】

鳥居峠は、雲海と赤城山の四季折々の絶景を一望できる絶好の展望スポットです。

変わらず、赤城山にいます。

地域おこし協力隊として過ごした約2年間、多くの方々に支えられながら、協力隊活動を続けてこられたことに心から感謝いたします。

退任とはなりますが、これからは「ほぼ日」の乗組員として、赤城山山頂駅を拠点に、赤城の自然や文化を楽しむ場所づくりに取り組んでいきます。

これまで以上に、赤城山を訪れる皆さんが笑顔になれるような活動を続けていきますので、ぜひ遊びに来てください。

これから、赤城山でお会いできるのを楽しみにしています！



vol.11

協力隊通信

Spring 2025

前橋市スポーツ推進 地域おこし協力隊

高橋 芙由子

(たかはし ふゆこ)



スポーツの力で前橋市に活力を

前橋市地域おこし協力隊2年目となります、高橋芙由子です。地域の皆様の「スポーツ」を推進するため、様々なイベントを開催しています。前橋市を拠点に活動している3x3(3人制バスケットボール)プロチームFLOWLISH GUNMAのプロ選手としても活動しており、2025年3月末に行われたFIBA3x3アジアカップ2025へ日本代表として出場し銀メダルを獲得することができました。

これまでは体幹トレーニング教室やリズムトレーニング教室、栄養講習、バスケットボール教室など、年代を問わず開催し毎回たくさんの地域の皆様にご参加いただきました。

昨年度の活動により、少しずつ地域の皆様に認知していただいている実感もあり、今年度はより一層地域住民のニーズに応えた活動をしていきたいため、SNS等オンラインの場でもアプローチしていきたいと考えております。

自身のプロバスケットボール選手としての活動はもちろん、前橋市にはプロスポーツチームやアスリートが複数在籍しておりますので、そういった方々の認知活動も進めていきたいと思っております。本年度もよろしくお願いいたします。



【地域の魅力紹介】

ソネットフィットネス

前橋市大友町2丁目6-1 ソネット本社ビル2F

今まで通ってきたどのジムよりも設備が整っていてトレーニングもやる気が出ます。(笑)温泉、そしてサウナもついているのでここに行った後はもうぐっすり寝るだけです。



vol.11

協力隊通信

Spring 2025

前橋市移住定住促進 地域おこし協力隊

上原 裕介

(うえはら ゆうすけ)



まえばしスローライフ、 新しい世代へ受け継がれていく思い

スローシティの一環として前橋市大胡地区の古民家と敷地を、持ち主の方、地域活動をしている方、地域おこし協力隊、共愛学園前橋国際大学生、東洋大学・鈴木ゼミと活用し、古民家の維持・スローシティ文化普及を目指し、地域の伝統文化や農産物を使って体験会を行っています。

放置されていた古民家敷地の枯れた樹木、竹林を伐採して通路を作ることや、荒れていた畑を耕すところから始まり、生きている樹木を剪定して荒れ果てていた場所を修復し、活動が出来るようになりました。

現在では、タケノコ、タラの芽、お茶、ふき、栗などが安定して採取できるようになり、毎月、東京から学生が訪れ、地域の方の指導を受けて、畑を耕し、夏には夏野菜とひまわり、秋はコスモス、冬は冬野菜など花が咲き、農作物が実るようになりました。毎月1回のイベントを開催し、ゲストを呼んで、お花見や餅つきなどの地域の伝統文化紹介やスローフード体験会が行われています。

これからは体験会に追加して、敷地で採れた農産物を販売、井戸の復旧に取り組む予定です。



【地域の魅力紹介】

臨江閣

臨江閣は近代和風の木造建築で、国指定の重要文化財。

結婚式などの行事、ドラマ撮影のスポットとなり、夜間にはライトアップされる。

vol.11

協力隊通信

Spring 2025

前橋市地域おこし協力隊

スローシティ・観光振興分野

村上 史

(むらかみ あや)



【地域の魅力紹介】

MINAZAWA BASE

赤城南麓スローシティエリアで安心・安全な豚肉や無添加の加工食品を作る「近藤スウィンポーク」の直売所&カフェ。デリの販売も魅力的。

今、ここを味わうことのゆたかさ

スローシティの玄関口と言われる田口町に、田口菜という伝統野菜があります。ほのかな苦みがあり、独特の味わいは土壌や日当たりなどの条件に限られるため、栽培は少量なのだそう。また、旬の時期が短く2月中旬から3月中旬くらいまでが収穫時期であり、早春の楽しみとして地元で親しまれています。

その貴重な田口菜を自分たちの手で収穫し、その場で調理をして食べるという催しを企画しました。参加したのはスローシティについて学んでいる東洋大学と共愛学園前橋国際大学の学生と、東洋大学の鈴木鉄忠教授。田口町の方から収穫のやり方を聞き、近くの古民家で調理開始です。田口町の方の指導の下、茹でたものに加えて辛子和えとかき揚げとペペロンチーノを作りました。

昔の様子や貴重なお話を伺いながら、今ここでしか味わえないものをいただくことのゆたかさ。積み重ねてきた歴史、手仕事や皆と共有する時間など、とても得難い経験でした。今後も、食を通じてゆたかな時間を創っていきたいです。



vol.11

協力隊通信

Spring 2025

移住定住促進
地域おこし協力隊

勅使川原 嘉己

(てしがわら よしき)



“住みたい”も“住み続けたい”も、前橋で。

2025年4月に地域おこし協力隊としての活動を始めたばかりですが、いま力を入れているのは「前橋っていいじゃん」と思ってもらえる情報発信です。“市外の人”には移住したいと思ってもらえるように、“市内の人”には住み続けたいと思ってもらえるように、両方の視点を大事にしながら日々発信に取り組んでいます。

また、移住コンシェルジュの鈴木さんのサポートをしながら、前橋に関わる人たちの声にも耳を傾けています。いずれは「お試し移住」などの体験企画にも挑戦していきたいと考えています。

卒隊後の進路についてはまだ決めていませんが、3年間の活動の中で地域との関わりや自分自身の想いを深めながら、じっくり考えていくつもりです。

前橋の「自然と街」がちょうどよく交わるこのまちの魅力を、全市域をフィールドにしながら発信していきます！



【地域の魅力紹介】
るなばあく

安くて楽しい、私の幼い頃の思い出が詰まった場所。三世代にわたって愛され続ける、前橋が誇る“日本一懐かしい遊園地”です！



←YouTube



←Instagram



vol.11

協力隊通信

Spring 2025

KEEMA CURRY



前橋市中心市街地
地域おこし協力隊

徳光 航平

(とくみつ こうへい)



人と人がつながる場の構築

こんにちは！前橋市の地域おこしとして、中心市街地活性化部門を担当している徳光です。

街中で飲食店開業のため、出店などの活動と、地域おこし委託先の前橋まちなかエージェンシーの業務として、イベントのサポートや、毎月発行のフリーペーパー「まちなか新聞」の執筆と写真撮影をメイン業務として行なっています。昨年、開業予定地が見つかったので開業準備に集中しようと出店を一時的に控えていましたが、諸事情により開業が見送りになったので、イベント出店の方も再開しようと試みています。

現在は拠点点を赤城山麓の方に移そうと、移住コンシェルジュの鈴木さんにご紹介いただいた畑つきの古民家の改装を、まちなかで出会った仲間たちと共に行なっています。隊員卒業後は古民家を拠点に、自分たちが育てた野菜を使った料理や、都内の前職で培った人脈と、前橋で培った人脈をミックスしたような催事が行える場所を作り、人と人が繋がる場所の構築を目指して活動してまいります。



【地域の魅力紹介】

四季折々の表情を魅せる広瀬川が好きです。

この川を物差しに位置関係などの会話をする
ことも多く、まちなかのシンボルと感じて
います。



vol.11

協力隊通信

Spring 2025

前橋市中心市街地 地域おこし協力隊

小澤 亮太

(おざわ りょうた)



本屋、始めます

7月頃に本屋を開店します。場所は中心市街地の中央通りです。以前は「藤屋」というブティックがありました。私は本が好きで、協力隊になる前には出版取次会社（出版社と書店を繋ぐ専門商社）に勤めていました。「いつか自分で本屋ができればいいな」と思っていたのですが、協力隊の活動をする中で、物件の紹介をいただき目標を達成できるようになりました。しばしばニュースで取り上げられているように本屋さんの数は年々少なくなっています。しかし、昨年10月に開催された「前橋BOOK FES」に6万人を超える来場者があり、まちなかの数か所に設置されている「ブックのボックス」の前で立ち止まって本を眺め、借りていく人を見ると、本の持つ力やコミュニケーションツールとしての信頼の高さを再認識しました。店内には喫茶スペースも設ける予定です。ぜひ一度足をお運びいただき、お気軽にお声かけください。本と珈琲で豊かな時間を過ごせる空間にできるよう準備を進めています。



【地域の魅力紹介】

広瀬川河畔です。春の桜、豊富な水量、川にすなだれる柳、広がる芝生が非常に気持ちよく、しばしばお昼休みに読書をしています。